

実績評価書

(厚生労働省29(I-4-1))

施策目標名	政策医療を向上・均てん化させること(施策目標I-4-1) 【基本目標I】安心・信頼してかけられる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること (施策大目標4) 国が医療政策として担うべき医療(政策医療)を推進すること							
施策の概要	歴史的・社会的な経緯等により民間等では提供されないおそれのある医療や高度先駆的な医療については、国が医療政策として担うべきもの(政策医療)とされている。本施策は政策医療を推進するために実施するものである。 なお、独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)に基づき、独立行政法人国立病院機構及び国立研究開発法人国立高度専門医療研究センターの評価については、主務大臣が評価を実施している。							
施策の背景・枠組み(根拠法令、政府決定、関連計画等)	政策医療(国が医療政策として担うべき医療)を継続的に実施すること。							
施策の予算額・執行額等	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求額	
	予算の状況(千円)	当初予算(a)	49,044,122	43,188,369	41,704,784	41,777,614	42,779,155	45,059,982
		補正予算(b)	1,499,892	0	423,684	529,369	0	
		繰越し等(c)	124,659	1,499,892	-169,614	60,989	10,625	
		合計(a+b+c)	50,668,673	44,688,261	41,958,854	42,367,972	42,789,780	45,059,982
		執行額(千円、d)	50,646,565	44,552,751	41,950,859	42,366,778		
	執行率(%、d/(a+b+c))	99.96%	99.70%	99.98%	100.00%			
関連税制								
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説、政府決定、関連計画等のうち主なもの)	施政方針演説等の名称	年月日			関係部分(概要・記載箇所)			
	独立行政法人改革等に関する基本的な方針	平成25年12月24日			【独立行政法人国立病院機構】 診療事業は全て自己収入により行っていることにかんがみ、積立金は、次期中期目標期間中に必要な施設整備等の財源に充てられるよう配慮する。			

測定指標	<p><指標1> 治験受入件数(製造販売後臨床試験を含む)</p>	指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠								
		独立行政法人国立病院機構及び国立研究開発法人国立高度専門医療研究センターは、中期計画及び中長期計画において治験を推進することを目標としている。 新薬・新医療機器等の研究及び治験を実施することで、その有効性や安全性の検証のもと新規開発が促進される。より良い医療をより早く患者に提供することを目的とした政策医療推進のため、臨床研究における治験受入件数を測定指標とし、平成28年度までは前年度以上、平成29年度以降は、過去の実績を踏まえ第4期最終年度目標値を第3期最終年度(平成28年度)比で20%増とした。								
		基準値	実績値					目標値	主要な指標	達成
		28年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	33年度		
		1,563	1,367	1,512	1,508	1,563	1,991	第4期最終年度目標値を第3期最終年度比で20%増	○	○
	年度ごとの目標値		1,214	1,367	1,512	1,508	1,626			
	<p><指標2> 発表論文数(掲載に専門家の審査が必要となる国際的に評価される専門的学術雑誌に掲載された科学論文)</p>	指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠								
		独立行政法人国立病院機構及び国立研究開発法人国立高度専門医療研究センターは、中期計画及び中長期計画において臨床研究を推進することを目標としている。 国際的に評価される専門誌等で論文を発表することで、新たな知見の普及や更なる研究の推進につながることから、発表論文数を測定指標とし、平成28年度までは前年度以上、平成29年度以降は、過去の実績を踏まえ第4期最終年度目標値を第3期最終年度(平成28年度)比で10%増とした。								
		基準値	実績値					目標値	主要な指標	達成
		28年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	33年度		
5,075		4,435	4,869	4,910	5,075	5,505	第4期最終年度目標値を第3期最終年度比で10%増	○	○	
年度ごとの目標値		4,399	4,435	4,869	4,910	5,177				
<p><指標3> 研修会受入人数</p>	指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠									
	独立行政法人国立病院機構及び国立研究開発法人国立高度専門医療研究センターは、中期計画及び中長期計画において医療従事者の育成を積極的に行うことを目標としている。 研修会を実施することで、医療従事者の育成を積極的に行い、先端医療の習得と普及を促進する。このような教育研修を通じて政策医療を推進するため、研修会受入人数を測定指標とし、平成28年度までは前年度以上、平成29年度以降は、過去の実績を踏まえ第4期最終年度目標値を第3期最終年度(平成28年度)比で15%増とした。									
	基準値	実績値					目標値	主要な指標	達成	
	28年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	33年度			
	358,161	306,605	327,534	352,958	358,161	387,608	第4期最終年度目標値を第3期最終年度比で15%増	○	○	
年度ごとの目標値		298,432	306,605	327,534	352,958	368,906				

		指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠								
<指標4> ホームページアクセス件数	年度ごとの目標値	独立行政法人国立病院機構及び国立研究開発法人国立高度専門医療研究センターは、中期計画及び中長期計画において情報の発信を行うことを目標としている。 ホームページにおいて医療従事者のみならず一般国民を対象とした医療情報(疾病予防対策やセミナー開催等の国立病院機構及び国立高度専門医療研究センターの取組)を発信することで、全国民が医療への理解を深め医療への参画機会を得ることができる。このような情報発信を通じて政策医療を推進するため、ホームページアクセス件数を測定指標とし、平成28年度までは前年度以上、平成29年度以降は、過去の実績を踏まえ第4期最終年度目標値を第3期最終年度(平成28年度)比で20%増とした。								
		基準値	実績値					目標値	主要な指標	達成
		28年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	33年度		
		99,305,124	90,373,869	91,241,667	99,937,153	99,305,124	135,515,992	第4期最終年度目標値を第3期最終年度比で20%増		○
		80,146,856	90,373,869	91,241,667	99,305,124	103,277,329				

※24年度から28年度は第3期基本計画期間である。

評価結果と 今後の方向性	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) ②【目標達成】
	総合判定	(判定結果) A【目標達成】 (判定理由) すべての測定指標の実績値が目標値を上回っており、現行の取組が有効かつ適切に実施されていると判断したため。
	施策の分析	(有効性の評価) 【治験受入件数】 手続き等を見直すなど効率的な運用の中で、難治性・希少性疾患の原因究明や創薬等に向けた医師主導治験等を実施しており、平成29年度実績は1,991件で、平成29年度目標値(1,626件)を上回っているため、当該施策は有効に機能していると評価できる。 【発表論文数】 研究成果について積極的に論文発表を実施しており、平成29年度実績は5,505件で、平成29年度目標値(5,177件)を上回っているため、当該施策は有効に機能していると評価できる。 【研修会受入人数】 臨床研究や治験に従事する人材や地域の医療従事者の育成を目的とした研修、また、積極的に海外からの研修者の受け入れ等を実施している。平成29年度実績は387,608件で、平成29年度目標値(368,906件)を上回っているため、当該施策は有効に機能していると評価できる。 【ホームページアクセス件数】 ホームページのデザイン等を工夫し、見やすい環境を整備するとともに、研究成果等、正しい情報を積極的に発信することに努めた。平成29年度実績は135,515,992件で、平成29年度目標値(103,277,329件)を上回っているため、当該施策は有効に機能していると評価できる。
		(効率性の評価) 予算額、予算執行額ともにほぼ横ばいで推移している中、すべての測定指標について目標を達成していることから、当該政策は効率的に機能していると考えられる。
		(現状分析) 政策医療の実施に当たっては、診療のみならず、臨床研究、教育研修、情報発信の機能と一体となった医療提供体制の整備を図ることとしており、各測定指標が、毎年度目標を達成できていることから、着実に施策が進められていると評価できる。治療法が確立していない、他の施設では収集困難な希少疾患等に対する研究等の必要性は高く、我が国にとって、引き続き政策医療を実施していくことは重要な課題である。
	次期目標等への 反映の方向性	(施策及び測定指標の見直しについて) 我が国にとって、政策医療を継続的に実施していくことは重要な課題であるため、より効率的な運営を行っていくとともに、必要な予算の確保を行い、引き続き現在掲げている測定指標の目標達成に向けて、施策を実施していくこととする。 (予算要求について) 政策医療の推進を図るため、引き続き必要な予算を要求する。 (税制改正要望について) — (機構・定員について) —

学識経験を有する者の知見の活用	厚生労働省政策評価に関する有識者会議医療・衛生ワーキンググループ(平成30年7月31日開催)で議論いただいたところ、「目標を達成する場合、どのようにして達成したかを知ることが有用だと思う」というご指摘を受け、「施策の分析」欄の有効性の評価のうち、ホームページアクセス件数の記載として、ホームページデザイン等の工夫といった見やすい環境の整備という旨の記載を追記した。
-----------------	--

参考・関連資料等	<ul style="list-style-type: none"> ● 関連法令 <ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人国立病院機構法 http://law.e-gov.go.jp/htmldata/H14/H14HO191.html ・高度専門医療に関する研究等を行う国立研究開発法人に関する法律 http://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0500/detail?lawId=420AC0000000093 ● 指標に関連した事項のホームページ※各指標数値については、各機関に対して調査を実施し集計したものである。 <ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人国立病院機構 http://www.hosp.go.jp/ ・国立研究開発法人国立がん研究センター http://www.ncc.go.jp/ ・国立研究開発法人国立循環器病研究センター http://www.ncvc.go.jp/ ・国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター http://www.ncnp.go.jp/ ・国立研究開発法人国立国際医療研究センター http://www.ncgm.go.jp/ ・国立研究開発法人国立成育医療研究センター http://www.ncchd.go.jp/ ・国立研究開発法人国立長寿医療研究センター http://www.ncgg.go.jp/ ● 関連事業の行政事業レビューシート(平成28年度の事業) <ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人国立病院機構運営費 http://www.mhlw.go.jp/jigyo_shiwake/gyousei_review_sheet/2017/h28_pdf_saisyu/089.pdf ・独立行政法人国立がん研究センター運営費 http://www.mhlw.go.jp/jigyo_shiwake/gyousei_review_sheet/2017/h28_pdf_saisyu/090.pdf ・独立行政法人国立循環器病研究センター運営費 http://www.mhlw.go.jp/jigyo_shiwake/gyousei_review_sheet/2017/h28_pdf_saisyu/091.pdf ・独立行政法人国立精神・神経医療研究センター運営費 http://www.mhlw.go.jp/jigyo_shiwake/gyousei_review_sheet/2017/h28_pdf_saisyu/092.pdf ・独立行政法人国立国際医療研究センター運営費 http://www.mhlw.go.jp/jigyo_shiwake/gyousei_review_sheet/2017/h28_pdf_saisyu/093.pdf ・独立行政法人国立成育医療研究センター運営費 http://www.mhlw.go.jp/jigyo_shiwake/gyousei_review_sheet/2017/h28_pdf_saisyu/094.pdf ・独立行政法人国立長寿医療研究センター運営費 http://www.mhlw.go.jp/jigyo_shiwake/gyousei_review_sheet/2017/h28_pdf_saisyu/095.pdf
----------	--

担当部局名	医政局	作成責任者名	医療経営支援課長 樋口 浩久	政策評価実施時期	平成30年6月
-------	-----	--------	-------------------	----------	---------